

【確認問題③—④】解答

国語 主語・述語・修飾語・指示語など (B)	五年	組	番	名前
------------------------	----	---	---	----

問一

次の例文のように、文中の指示する言葉（こ・そ・あ・ど言葉）が指している言葉に線を引きましょう。

(例) 今日は 暖かいです。だから この シャツを 着て 出かけます。

① お皿が 三つ 残っています。あの 食器棚に 片付けてください。

② 壁に 絵が 飾ってあります。これは、祖父が 描いたものです。

③ レストランに 着きました。ここ の 肉料理は、とても おいしいです。

問二

次の文の□に入る接続語(つなぎ言葉)を、あとの方からもつとも当てはまるものを一つずつ選んで書きましょう。

① 友達と買い物に行つた。しかし

② 私は泳ぐことが好きだ。だから

③ 朝から雨がふっている。しかも

④ 明日は晴れてほしい。なぜならば

だから なぜならば しかし しかも

問三

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

ここに茶わんが一つあります。中には熱い湯がいっぱい入っています。ただそれだけではなんのおもしろみもなく不思議なこともあります。□、よく気をつけて見ていると、だんだんいろいろな細かいことに気がつき、さまざま疑問が起ってくるはずです。ただ一杯のこの湯でも、自然の現象を観察し研究することの好きな人には、なかなかおもしろい見物です。

第一に、湯の表面からは白い湯気が立っています。これは、熱い水蒸氣が冷えて、小さな滴になつたのが無数に群がつてしているので、ちょうど雲や霧と同じようなものです。この茶わんを、縁側の日なたへ持ち出して、日光を湯気にあて、向こう側に黒い布でもおいてすかして見ると、滴の、粒の大きいのはチラチラと目に見えます。場合により、粒があまり大きくないときには、日光にすかして見ると、湯気の中に虹のような、赤や青の色がついています。これは白い薄雲が月にかかるときによく見えるのと似たようなものです。

(『茶わんの湯』寺田寅彦。出題にあたり、一部書き改めたところがある)

- ① この文章には、いくつの形式段落があるでしょう。段落の数を漢数字で書きましよう。

二 段落

- ② 文章中の□に当てはまる言葉を、あとの中より一つ選んで書きこましよう。

しかし

さて ところで また しかし

□

- ③ 文中で、――が付いている指示語が指している言葉を書きましょう。

(白い)湯気